

# 農業 × 人手不足 × デジタル



金子さん所有の温室(吉胡町)にて

右 農家を助けるアプリを開発  
(株)アグリトリオ(豊橋市)  
石川 浩之さん

左 アプリを利用する菊農家  
金子園芸  
金子 洋司さん

全国トップクラスである田原市の農業。その農業分野で課題となっている人手不足の解消に、デジタルを使って挑戦している現場を訪ねました。

## | デジタルでどんな取り組みを? |

石川さん:農作業は忙しい時期と、そうではない時期があり、必要な時だけの人材確保が難しいという課題があります。そこで、必要な時に人手を探せるアプリ「農How」を開発しました。全国で1万人、東三河では2,100人の方が働き手として登録してくれています。

## | 利用する側としてはどうですか? |

金子さん:とても助けられています。うちでは、元からいるパートの方が高齢化し、腰や膝などが辛い菊の定植作業をお願いすることが難しくなっていました。このアプリを使うと、短時間の作業に必要な人数を集めることができます。幅広い年齢層の方が来てくれています。



◀ 募集がある作業が、日にちごとに見やすく表示される。アプリだと「プッシュ通知」機能があり、連絡に気付いてもらいやすい。



◀ iPhoneの方



◀ Androidの方

## | なぜアプリ開発をしたのか |

石川さん:当初はWEBサービスとして始めましたが、利用が見込めると判断したので、アプリ開発に踏み切りました。自分たちで開発したアプリなので、より使いやすいように改良を重ねることができています。

## | 今後の展開 |

石川さん:農家さんと話していると、行政などの支援情報が、十分行き届いていないと感じる時があります。情報を必要としている人に適切に届けることは難しいですが、自分たちのノウハウが役に立てることもあるの



ではと考えています。地域の方々とのネットワークと、デジタル技術を組み合わせることで、農業分野に限らず、この地域の社会課題を解消していきたいと思っています。

## CHECK

ロボットやICTなどを活用した農業を「スマート農業」といいます。市ではスマート農業技術導入に対して「スマート農業推進補助金」で支援します。

▶ 農政課 ☎23-3517